

BILZARD
ENTERTAINMENT

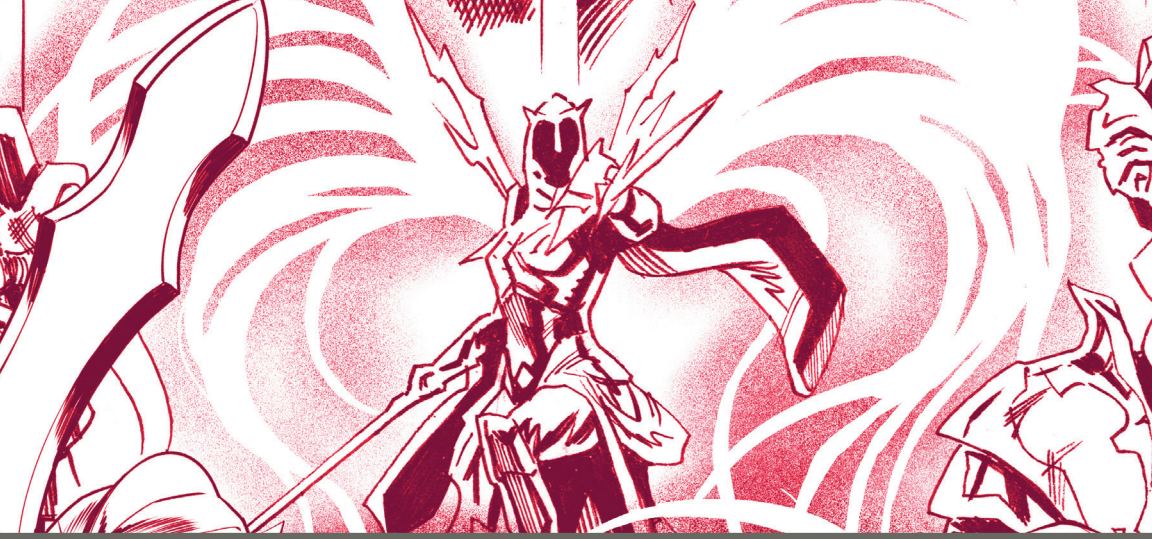
DIABLO

IMMORTAL



ヴェラティエルの鎖

FRED KENNEDY — ADAM GORHAM



ヴェラティエルの鎖

DIABLO
IMMORTAL

ディアブロによって、天使ヴェラティエルは世界の頂に捕らえられている。ディアブロがサンクチュアリを破壊するには、彼女の力が必要だ。まずは精神を壊して力を穢し、天使が最も恐れるものを探り出さなければならない…。

文 **FRED KENNEDY** アート **ADAM GORHAM**
彩色 **LAUREN AFFE** レイアウト **COREY PETERSCHMIDT**
レタリング **ANDWORLD DESIGN** 表紙 **ALEX MALEEV**

Blizzard Entertainment

シニアディレクター、ストーリー&フランチャイズ開発 **VENECIA DURAN**

シニアマネージャー、ライティングおよび書籍 **MATTHEW COHAN**

監修者 **CHLOE FRABONI**

シニアブランドアーティスト **COREY PETERSCHMIDT**

プロダクション **BRIANNE MESSINA, AMBER PROUE-THIBODEAU,
TAKAYUKI SHIMBO, LAURA WOODWARD**

ゲームチーム監修 **NICK CHILANO, DAVID LOMELI,
RYAN QUINN, EMIL SALIM**

世界設定監修 **IAN LANDA-BEAVERS**

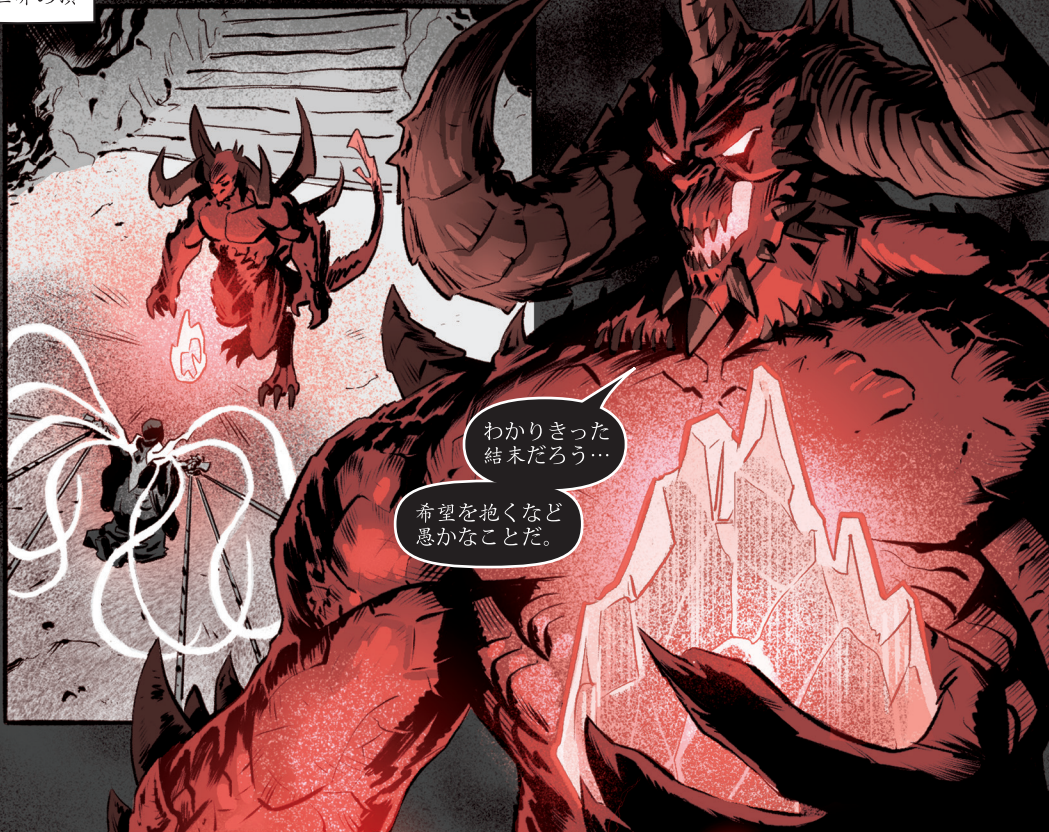


© 2024 Blizzard Entertainment, Inc.、BlizzardおよびBlizzard Entertainmentのロゴは米国またはその他の国におけるBlizzard Entertainment, Inc.の商標または登録商標です。

出版: Blizzard Entertainment

このコミックはフィクションです。名称、キャラクター、場所、事象は作者あるいはアーティストの創作、あるいはフィクションとして使用されています。存命・故人を問わず実在の人物、事業所、事象、場所とは一切関係ありません。

Blizzard Entertainmentは作者およびサードパーティのサイト、サイトの掲載内容に関して、一切の責任を負いません。



わかりきった
結末だろう…

希望を抱くなど
愚かなことだ。



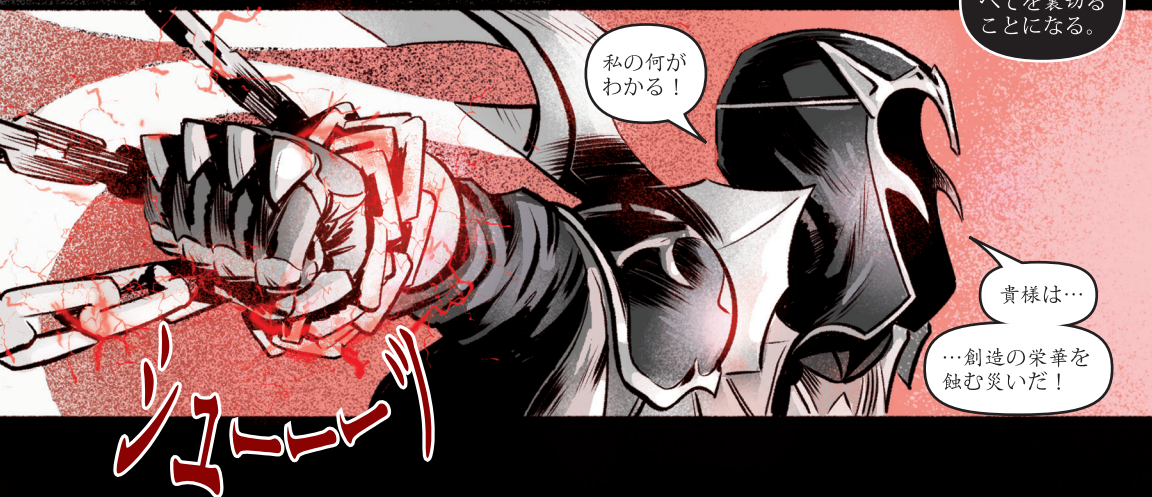
お前の恐怖は手に取るようにわかる。

今も感じている
のだろうか？



お前は恐怖
に溺れ…

戦う理由のすべてを裏切る
ことになる。

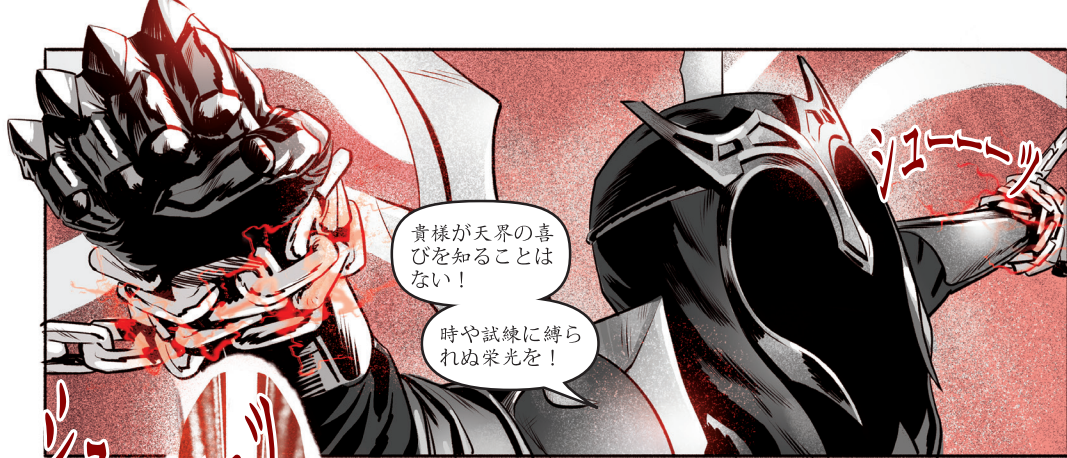


私の何が
わかる！

貴様は…

…創造の栄華を
蝕む災いだ！

シューッ



貴様が天界の喜びを知ることはない！

時や試練に縛られぬ栄光を！

シューーツ

シューーツ

光と音に支えられた完全なもの。

共鳴する音色。

調和の化身だ！

天界の軍に新兵が加わる時。

そこの。立て。我が美徳を受け入れよ。

私は希望の大使、アウリエルの戦士として…忠誠を誓った。

私はワールドストーン
の従者となった。

世界の創造者！

天界の夢より生まれた存在だ！

砂粒一つ一つにまで
栄光が織り込まれ…

…海や山々に広まって
いった。

石を奪われ、絶望したはずだ。さぞ恐ろしかったろう。

消えた！私のせいでは？ 私は… どうすれば？

奴らは…何を…？
なんて…冒険的な…

絶望の未来が見える。

希望は決して揺らがない！

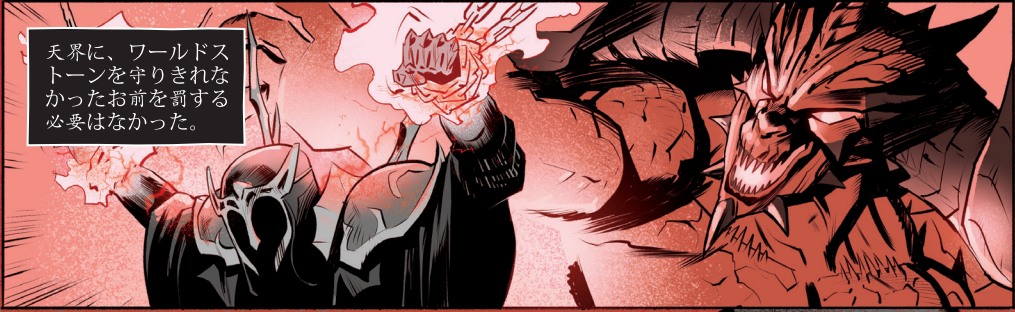
希望の歌は雷鳴のように轟き続ける！

我らが威光は、地獄の兵どもの目を焼く！


悪魔どもに、剣による救済をもたらすのだ！

愚かな評議会は地獄への報復を追い求め…


お前の破滅を企んだ。



天界に、ワールドストーンを守りきれなかったお前を罰する必要はなかった。




自らを罰していたからな。必死に過ちを償い…恥を隠し…恐怖を誤魔化した。



お前の心はワールドストーンの末路と、盗み出した犯人を知った時に揺らいだ。

イナリウスは…プライドに酔ったコソ泥だ。

仲間を裏切り、サンクチュアリという肥溜めを作ったのだからな。




その間、お前は自ら天界の戦いの畜車として回り続けた。

お前のせいで何人の天使が死んだ？

私は兄弟姉妹とともにあった！

私は窮地の彼らに希望を与えたのだ！



ヴェラティエルよ、お前は敵に刃と死を与え、仲間には嘘の約束をしたのだ。

混沌の手先として。

嘘だ！

ヴェラティエルよ、我々が戦うのは楽しむためではなく、平和を実現するためだ。

主人であるアウリエルはお前を救おうとした。

彼女の名を口にするな！

しかし…！それはあまりにも遠い未来のこと！希望を道標にすべきでは？

我は真実を語ったまで。彼女は戦歌の危険を知っていた…

お前も理解はしていたが…復讐だけを望んだ。

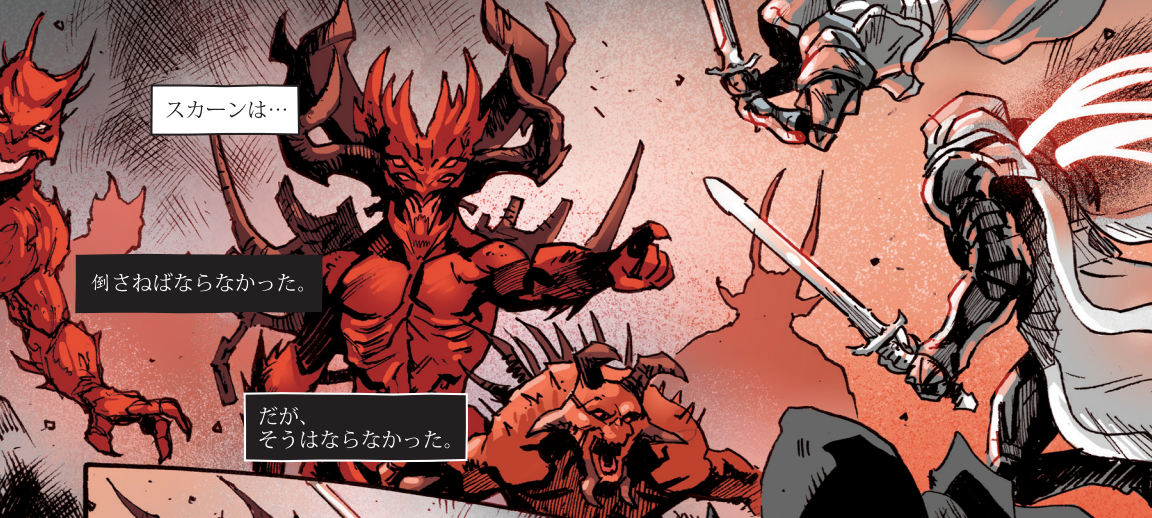
そして彫刻刀を捨て、剣を握った。

お前はアウリエルの兵を徴集した。

希望を死の旗手に仕立て上げたのだ。

破滅の領域では立ちふさがるものすべてを斬り捨てていった。


私…いや我々は…地獄で新たな勢力が台頭しているという情報を得たのだ。



スカーンは…

倒さねばならなかった。


だが、
そうはならなかった。



皆…
代償は理解していた…

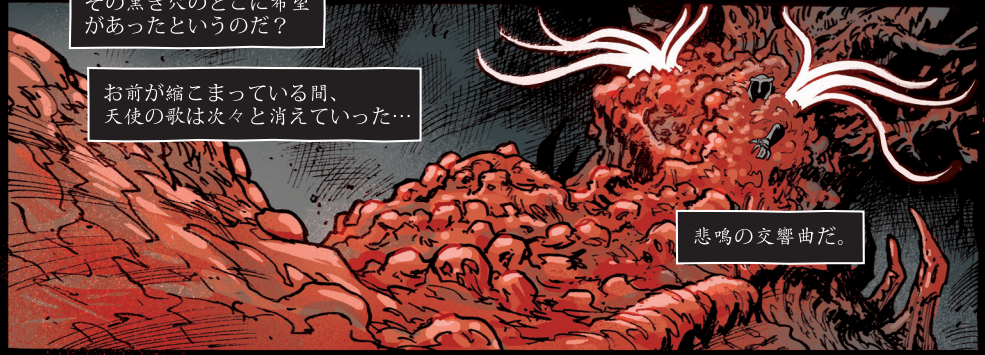
彼らは何も知らなかった。

お前のせいで希望を抱いたのだ。



お前は同胞をスカーンの
サイフォンに食わせ…

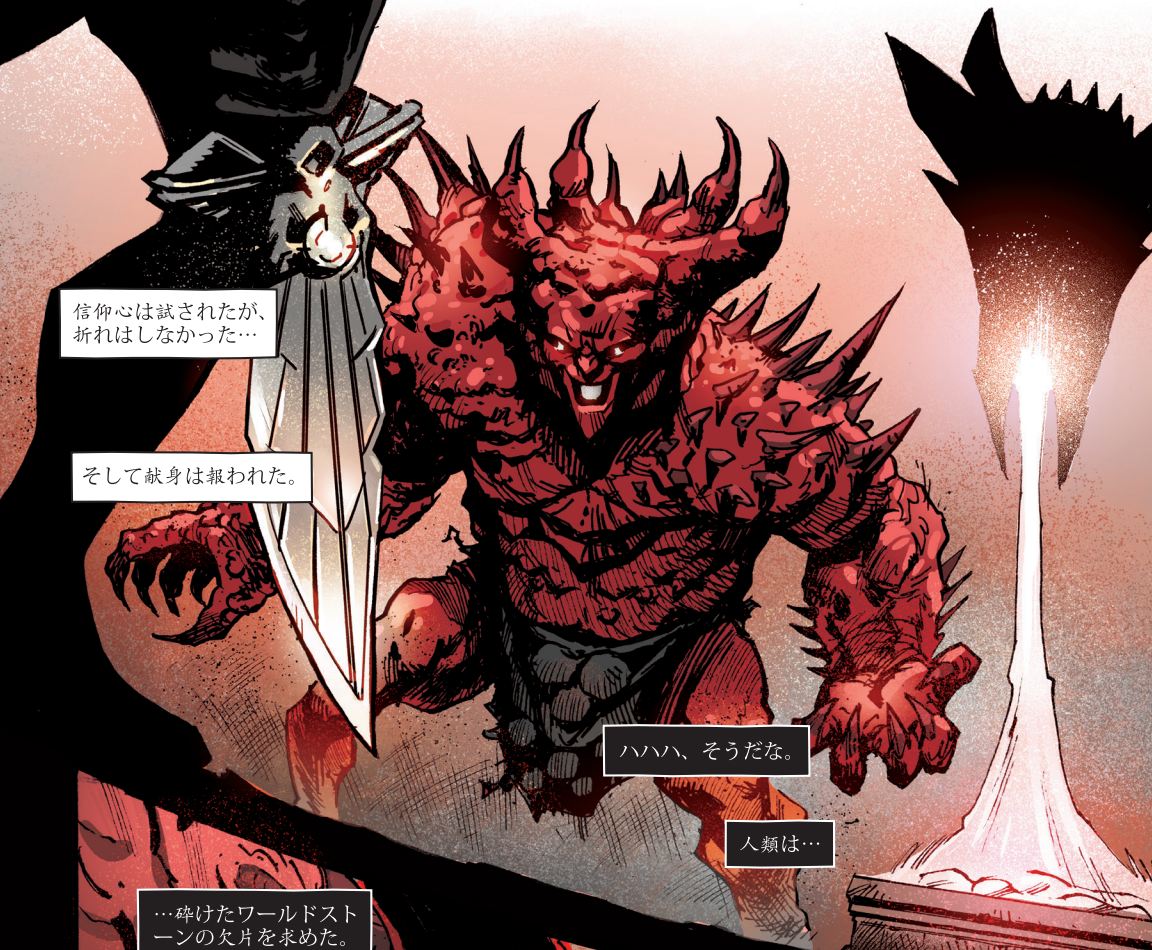
…仲間に破滅をもたらす
軍勢を作り上げたのだ。



その黒き穴のどこに希望
があったというのだ？

お前が縮こまっている間、
天使の歌は次々と消えていった…

悲鳴の交響曲だ。



信仰心は試されたが、
折れはしなかった…

そして献身は報われた。

ハハハ、そうだな。

人類は…

…砕けたワールドスト
ーンの欠片を求めた。

奴らはお前を生かし…



すぐに打ち捨てた。



逃げろ！早く！
欠片をここから
遠ざけるんだ！

私が…望んだことだ。

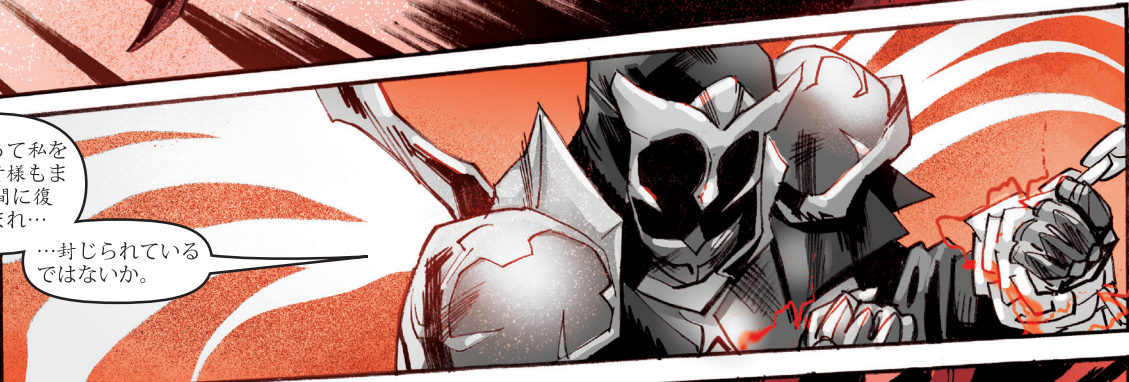
捨てられたのだぞ、
ヴェラティエル。

誰も助けに
は来ない。

天使評議会は失態を犯したお前
を地獄界に置き去りにした。

そうやって私を
見下す貴様もまた…
仲間に復活を拒まれ…

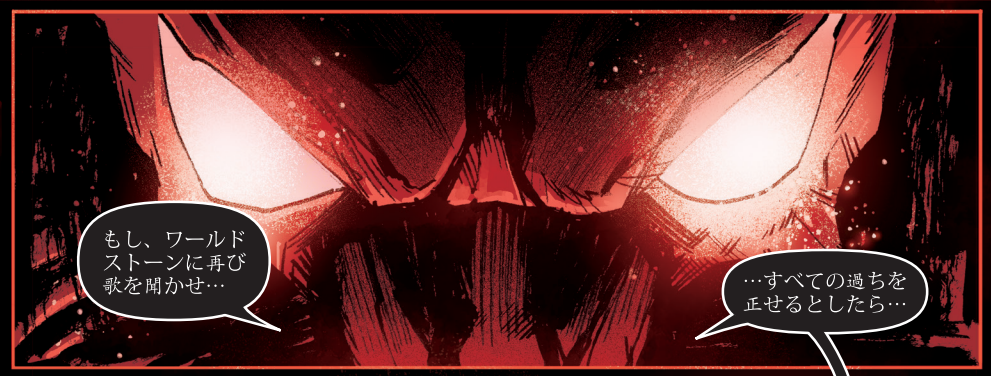
…封じられている
ではないか。



これでお前も理
解しただろう。



恐怖は何者にも
御せない。



もし、ワールド
ストーンに再び
歌を聞かせ…

…すべての過ちを
正せるとしたら…

お前はやるか？